第５学年○組　道徳学習指導案

 指導者　○○　○○

１　日　時　平成○○年○○月○○日（○）　　○校時　　５年○組教室

２　主題名　「本当の自由って何だろう」

出展：わたしの計画　Ａ－(1) 善悪の判断、自律、自由と責任（明るい心５年）

３　本　時

（１）目　標　自由について理解し、規律ある生活をしていこうとする気持ちを高める。

（２）準　備　教師･･･道徳プリント　児童･･･明るい心、私たちの道徳

（３）展　開　（めあて：本当に自由って何だろう）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 児童の学習活動と内容 | 教師の支援・留意点と評価（配慮項目） |
| ５２０３０４０ | １「自由」という言葉からイメージすることを発表する。あなたが考える「自由」とはどんなものですか。・何をしてもいいこと　・自分のやりたいことをやっていること　・誰にもさしずされずに自分の思うとおりにやれること２　本資料を読んで話し合う。　　明子が計画を立てて取り組もうと考えたのはどうしてだと思いますか。　・計画を立ててすれば、お母さんも心配しないから。・自分のやり方をはっきりさせておけばきちんとできるから。計画がうまく進まない日が多くなったのはどうしてだと思いますか。・仲良しの友達と長電話になってしまうから。　・テレビを見ておかないと、学校でみんなと話ができない。自分も見たい。　・眠くなって、明日にすればいいと思ってしまう。母の「自由ってどういうことなの。」という言葉を聞いて、明子はどんなことを考えたでしょう。　・自由がよいと思ったけれど、計画も立てなくなって、勉強しなくなってしまった。　・自由でいいと言われると、つい怠けてしまう。　・自分で決めたことだから、しっかりやらないと。３　本当の「自由」について考える。　・好き勝手なことをやればいいことではない。　・きちんと計画を立てる必要がある。　・自分に厳しくしないといけない。４　今までの自分を振り返り、今日の感想を書く。 | ・「自由」と言われたらうれしいか確認する。・児童が考える「自由」にふれておくことで、本当の「自由」の意味を考えるきっかけとする。・児童が考える「自由」を板書する。・教師の範読後、どんな話だったかを問い、場面絵を貼ることで話のポイントを押さえやすいようにする。・テンポよく授業を展開するために数人の児童に確認する。・教師(話の中)の意図は、自分に適した取り組み方で勉強する自由を与えていることを確認する。・計画を立てて自分を律していこうとする明子の気持ちを押さえる。・資料に線を引かせることで全員を参加させるようにする。・一度けじめを失うと歯止めがかけにくくなり、生活が崩れていくことを、自分の経験と比較することで、共感的に受け止められるようにする。・自分を厳しく律し続けることができるか否かにかかっていることにふれる。・「まずい」「自由はむずかしい」などのキーワードが出てきたら、どういうことかを具体的に聞くことで、本当の自由を考えることにつなげていく。・今まで考えていた「自由」との違いも語らせるようにする。・十分な時間をとり、それぞれが自分の生活を振り返られるようにする。〔評〕「自由」について、自分の生活を具体的に振り返ることができたか。（プリント） |
| 視点 | ・自分の考える「自由」を発表させた後、資料に入ったことは、本当の「自由」について考えるきっかけとして有効であったか。 |